

2024/8/10～8/12 開催 いけんひろば

～教育 DX の未来を考える～

いけんのまとめ チャット回

【チャット】1班（中学生3名・高校生世代4名） 2

【チャット】2班（高校生世代3名・大学生・大学院生4名） 9

【チャット】3班（社会人世代5名） 15

【チャット】1班（中学生3名・高校生世代4名）

1. 学校で使用している端末に思うこと

○タブレット端末等を使用して学ぶことの楽しさやメリット、困ること、不安なことを教えてください。

<タブレット端末などを使用して学ぶことの楽しさやメリット>

- （絵文字：音符）「PowerPoint」（Microsoft 株式会社製品）や「Canva」（Canva Pty Ltd 製品）でプレゼン資料を個人又は共同で作成するのは楽しいです。
- メリットとしては学習をゲーム感覚ででき、授業が楽しくなることです。
- 間違いなくタブレット端末はできることが広がるという意味では良いと思います。
- メリットはノートと鉛筆を使っのアナログな学習に替わり、様々なアプリを使用して学習ができることです。

<タブレット端末などを使用して学ぶことの困ること・不安なこと>

- （絵文字：悲しい表情）起動が遅いことが不満です。あと、ある学習用ソフトのアプリ機能を使うのですが、皆で共有する時に匿名にできないこと。
- デメリットとしてはデジタル機器に弱い人だと少しストレスに感じることもあることや、学校の Wi-Fi が弱く一斉に接続すると全く繋がらず授業が中断せざるを得ないことが不安です…
- タブレットやパソコンの性能や、インターネット回線上の問題（多数の端末が同時に接続するので業務用の回線を導入していても厳しいみたいです）で問題が発生することが多いみたいなのでそれらが改善するとより良いとは思いますが。
- 自分が住んでいる県では BYOD といって端末を各自で用意しなければならないため家庭によって出せる金額が異なります。そのせいでパソコンの性能に差が出ると学びの平等が担保できないのは不安に感じます。
- デメリットはタブレット端末を使用する技術力が人によってバラバラなため授業が止まってしまうことが多々あることです。
- タブレット教材は発表や下書き、自己学習などで使われていてとても便利ですが、先生の技術力によっては授業で一切使われなかったりもう少し授業に取り入れて欲しいです
- 「PowerPoint」で作るのが楽しいという意見は自分も同じですが途中ネットの影響で授業が止まってしまうのはデメリットだと思います
- 先生の技術に違いがあり、又、生徒にも今まで使ったことがある人とそうでない人とは、差がとてもあるように感じるので、その点もデメリットだと思いました。
- クラス全員合わせて授業が進められていくので、生徒の中で技術力の違いが出てしまい授業がゆっくりになったり止まったりしてしまいタブレットが使える人からするとあまり楽しくなかったり、クラスの授業進度がバラバラになってしまうかもという不安があります。
- 問題点を言うならば、別にタブレットとかに限った話でもないですが、トラブルが割と発生することだと思います。実際僕も学校用の Google アカウントがなぜか突然凍結されたことがありました、、（復

活できましたが、未だ原因不明です) そう言うトラブルに対応できる体制は重要なのかなと思いました。

- タブレットを家に忘れたときはとても困ったなと体験しました。教科書のように隣の人に見せてもらうことも不可能ではないですが毎回というわけにはいかないなと思いました。

○「自分らしい学び」のイメージのような学習はできていますか。できていないとすればどのような要因で妨げられていますか。

- できてないと思います。タブレットの学習データが先生と連動していないと感じます。(これやって来て、と言われるけど、それを元に先生の授業や評価が変わる訳では無い) また、タブレットで使えるアプリが決まっていて、用意されているドリルアプリが自分には合わないと感じます。なのでせっかくのタブレットの個別化された適した学習ができる所があまりいかせていません。
- 完全にできているようには思いません。この形態は学校が大きくシステムを変え協力する必要があると思うので、生徒だけでどうにかできることではないと思います。全国の学校が広くこのようなシステムを導入するには政府とかが学習データを収集できるプラットフォームやそれらを連携できる制度などを準備していくことが不可欠になっていくんじゃないかなあ、と個人的には思ったりします(民間のサービスでもできはするでしょうが、教育データ利活用ロードマップにあるさまざまな機関でのデータ連携を行うなら一つのサービスで全国的に行っていくのが一番なのかな、と感じました)
- ちなみに動画教材に絞ると、学校から「スタディサプリ」(株式会社リクルート製品) のアカウントが提供されたことはありました(いつのまにか利用できなくなっていました、) 先生からのサポートやデータ連携などテーマ説明資料にあった「自分らしい学び」のイメージで掲載されていることのほとんどはありませんでしたが、それでも自分のペースで、分からないところや復習したいところを動画で見られたのは良かったです。そういう意味では「自分らしい学び」のイメージで示されていることが実現すればいいな、とは思います。
- 僕も出来ていないと感じます。僕の学校の先生はご年配の先生が多く「今までやってきた授業のやり方を急には変えることはできない(今までデジタル化しなくてもうまくできていた)」とパソコンは一切使わない先生が多く、そもそも使う機会が少ないからです。他の参加者も言っているとおり生徒だけでは変えられないのが事実です。そのため、先生方に必要性をわかっていただけるように説明していただきたいです。
- 民間のアプリを使っていますが、先生たちが使いこなせていない(必要性を感じられていない)ため、ほぼ放置に近くもったいない気がします。
- また民間のアプリも個人情報について心配に思っている友達も多く、「自分らしい学び」をしたくてもしくい人があると思うので是非民間アプリを利用するとしても対策を講じていただきたいです。
- 私もできていないと思います。まず先生達がアプリを使おうとしないことや自主的に使っても先生が使えていないのでサポートも受けられていません、私もドリルアプリが合わないと感じていて複数のアプリが使えるようになったらもう少し利用する人も増えるのではと思っています

- 私はできていると感じます。私の学校はタブレット端末を幅広く授業で使用していたり、アプリを使用して自分の苦手教科を知れたり、苦手教科を克服するためのドリルを AI が選んでくれるなどの機能を活用していたりしています。個人で学習記録を書き込むなど「自分らしい学び」を見つけるために学校が協力してくれていると感じます。
- できていると考えます。コロナ禍を経てタブレット学習に慣れたからかもしれませんが、各自自分たちで期限までに課題を家でやり、そのがんばった分を評価につなげるやり方が私にとっても合っているからです。また、この方法は実際に英語の学習の仕方に取り入れており、努力した分だけ点がもらえるのでとても私に合っていると考えます。

2. 対面で取り組む活動に思うこと

○学校や放課後、休日に、対面で取り組む活動のどのようなところが大事だと感じるか教えてください。

<対面の活動で大事なこと>

- ネットでは分からないその場の雰囲気があるので、それを感じることで、関わる相手と適切な距離で接しやすくなるのは大事だと思います。
- 直接相手の顔が見られるのでコミュニケーション力、主体性が養えるのは大事だと思います。ネットだけだとその場での対応力が養えず、社会に出たときに困ると思うからです。
- 「相手の表情」「間（ま）」などから相手の気持ちを感じて発言できたり、顔がみえないとキツイ言い方になってしまうことがあるけど対面だと言葉選びに慎重になれたりするので大事だと思います。
- 対面での活動で重要なことは周りとのコミュニケーションをしっかりとることだと思います。個人ではなく、グループで何かをやる機会が多いので、周りを見ながら協調性や責任感を持って行動することが大事になってくると思います。そして、それを行う能力は学生の間だけではなく、将来も重要なのかなと感じます。そういう意味でデバイスでの学習だけではなく、対面での学習もバランスよく行うことが大事だと思います。
- 対面での活動で大事だと思うのはグループでも活動です。なぜならグループでやる事で協調性が養われて社会に出た時にも役立つ能力が育つと思うからです
- 対面での活動で大切にしたいことは「多様性を尊重する」ことです。グループで活動をするときに特定の人しか意見を出さなかったり、ある意見を強く否定したりというような活動結果になってしまうと誰も楽しく思うことができず、活動としての成果が小さくなると思います。そのようなことを減らすためにも価値観や考え方を押し付けず又相違点でその人を判断しないことが大切だからです。
- 対面での活動では、2つの候補に対し自分の好きなほうを選び、そのことについて議題することが私には素晴らしいことだと考えます。また、対面で大事なことは相手とのコミュニケーションの取りかたで、自分の意見を押しすぎないように、また相手の意見を否定しないようにすることが重要だと考えます。
- 対面での活動で大切にしたいことはオンラインでも言えることですが、「相手のことを尊重する」ことだと思います。その人が勇気を出して言ってくれた意見に対し否定することは相手に失礼であり否定され

た場合次に発言しづらくなってしまいます。それだと活発な意見交流にはなりませんし、何より雰囲気が悪くなってしまえば良い意見など出ないと思うからです。

<どのようなときに対面/オンラインを選ぶか>

- オンラインの大きな魅力の一つは時間や場所に比較的縛られないことだと思うので、進度がバラバラな時や、一人一人が自分のペースで進めたい時はオンラインがいいと思います。一方で、他の人とディスカッションをしたり、共同で何かをする時は対面の方がやりやすいことが（少なくとも現時点では）多いのかな、と感じます。
- 新しいことを習うときに対面を選びます。対面ならその場ですぐ質問ができたりするからです。（集まるのが難しい『場所、一人で外に行かせるのが危ない年齢』ければオンラインを選ぶかもしれませんが。）復習など先生がいなくてもできる勉強や個々で勉強したいときなどはオンラインでもいいかなと思います。
- 対面では、SNSなどで友人と会話するだけでは伝わらない、対面だからこそその感情の共有ができると考えます。そのため、積極的に友人や、友人だけでなく知り合ったばかりの人ともコミュニケーションを取ることが重要だと考えます。
- オンラインで習う場合は、なにか習うところや教室が遠く、直接行くには難しい講義などのときに役に立つと考えます。
- オンラインは外に出るのが難しい時・豪雪猛暑などの時も普通にできるのでそういう時には活用したいです。それ以外の時はコミュニケーションをとるために対面を選択したいです
- 対面では時間の調整ができ、意見出しなどをする時・詳しい話し合いがたくさんしたい時に選びます。また、相手の言葉を直接聞けるので身振り手振りや表情からも読み取りながら話し合いがしたい時に選びます。オンラインは時間の調整が難しい時だったり、はじめて意見を出し合ったりする場面で対面だと緊張してしまうので選びます。

<対面でどのようなコミュニケーションをとりたいか>

- 個人的には、正解がないような話題をグループで議論することが好きです。自分では全くしなかった考え方なども知ることができて結構興味深いです。
- オンラインでの対話や、SNSのチャットなどでは慎重になって、必要最低限しか発言しないことがありますが、対面だと活発な会話になるので、アイデアを引き出したい時、議論したい時は、対面が最適だと思います。
- 僕は時事問題などを友人と議論することです。まずその問題についてどう考えているかの前提から違っていたり、同じような考え方でも少し違ったり、新しい視点に立てたりするのは自分にとっても新鮮で問題解決力、論理的思考力の向上を図ることができるのではないかなと思っています。
- 対面でコミュニケーションをするメリットの一つとして、相手との信頼関係を築きやすいことがあると思うので皆さんの意見のようにグループであったり、初めてあった人とコミュニケーションをしたいです。

3. 周囲からのサポートのあり方について思うこと

○自分らしく学ぶためには、先生や友人、アプリなどから、どのようなサポートがあったらよいか、教えてください。

- 周囲からのサポートではわからないところや、困っていることをいつでも質問できる環境が重要だと思います。特に、「自分らしい学び」のイメージにあるように動画教材を導入するのであれば、動画教材を見てきた不明点などを聞ける環境は大事かな、と思います。
- 私も教材の不明点などを聞けるような環境が大事だと思います。さらに私はそれ以前の環境を整えるサポートが必要だなと思います。私の学校は端末が iPad と決められておりそれに加えて専用のペン、キーボードを購入しなければいけませんでした。生徒側の負担を減らすためにも教育委員会や国からのサポートが必要だと思います。
- 金銭的負担を軽くしてほしいです。パソコンの性能の差があるために学習への影響があるのは良くないと思うので、カタログを用意するだけでなく、補助金の拡充をしていただきたいです。そして、Wi-Fi の強化は自治体だけでなく国も是非積極的に補助していただきたいです。（Wi-Fi がないと全く授業ができないため）。また、スクールカウンセラーのようなパソコンのサポーターがいればありがたいです。現状では教職員がサポートしている状況であり、もう 8 月でありながらまだネットにつなげていない生徒もいます。そのためスクールカウンセラーのようなパソコンカウンセラーがいていただければありがたいです。
- 全ての学校にパソコンのサポーターを配置することが難しかったとしても、そういう IT 系のトラブルに対応できるコールセンターや窓口が用意されていると便利かな、と思いました。この形式にすれば、トラブルにすぐ対応できるようになるメリットもあると思います。

4. 未来の教育について思うこと

○デジタル技術によって未来の教育はとなるとよいか。例えば、自分が大人になった時に、こどもたちが受ける未来の教育はどうなっていてほしいかなど、皆さんの考えや願いを教えてください。

- すごく抽象的に話すなら、教育は社会で必要な能力を学べる場でないといけないのは大前提として、その上で自分がやりたいことや興味があることについて学び、探求できる場であつたらいいなと思います。
- 自分で選べる教育であつて欲しいと思います。そして自分で選ぶために必要な力や、選び方を教えてくれ、自分で決めたことに全力でサポートしてもらえる、そんな体制を整えて欲しいです。
- 生徒が自ら探求できる教育の場になってほしいです。「問題を設定する」→「情報を収集」→「分析」→「意見を交換、協働」というようなサイクルが多くの教科で実践できる教育体制が整うといいなと思います。
- 勿論、必修科目は行うべきだと思いますが、それ以外にも問題解決力を伸ばす探究活動を増やしてほしいです。今日の社会では答えがないものが多く、それを伸ばす力が十分でないと思うからです。

- 必要科目以外の学習では、問題解決能力など社会でも必要な能力を伸ばす教育、また 1 人 1 人違った長所を見つけて伸ばす教育もあっていいなと思います
- 私は、それぞれの子どもたちが自分の好きなこと、得意なことに全力を注げる環境が整っていればと考えます。徹底的に寄り添いながらサポートしてくれる先生や、お互いを高め合える仲間やライバルたち、そしてなんとと言っても成長型の勉強用具が必須だと考えます。人はそれぞれ違う個性や好きなことを持っています。その個性や好きなことを、子どもの頃から見つけやすい環境だととても良いと考えます。

<「誰もが、いつでも、どこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」の実現のために、どうなっているのが理想の状態か>

- 経済的余裕や、年齢、住んでいる場所、病気や障がいの有無などによって学びの機会が阻害されず、誰もが学びたいことを見つけて、学べるようになるといいな、と思います。
- 学習できる施設がもっと多様になっていて、システムが充実しているのが理想です。施設は、
 - ・図書館のような、静かな自習できるスペース
 - ・調べ物をできるスペース
 - ・図書館より、気軽に入れて友達と教え合いながら勉強できる、カフェに似たような雰囲気の公共施設
 - ・実験器具が揃っている、スペース
 - ・家にいながら自習室に入ったように静かに自習できるオンライン自習室
 - ・VRの世界での学習施設
 - ・学習相談が気軽にできる施設 対面、電話、オンライン、チャット
 - ・もっと誰でも入れる地域コミュニティの一部となった学校
 など勉強できる環境を金銭面、都市地方関係なく選べるのが理想です。
 - 僕も理想論ではこれができたらすごくいいなと思います。前半分くらいをやるなら、公民館や図書館を改修してできないかな、なんて思ったりしました。
- 私は「誰もが、いつでも、どこでも」という部分に注目しました。何かを「学びたい!」と思っているのは小学生から大学生までのような学生だけではなく、サラリーマンやコンビニの店員のように今働いてる人の中にもいるはず。もちろん働きながら学ぶことは可能です。しかし全ての人がそうではありません。なので学生 = 学校、教育機関、、、とあるようにそれぞれ企業が学びの場を提供するというような状態が作れたらいいなと思います。
- 学校だけでなく、図書館や公民館などにも学習スペースや実験スペース、音楽スペースなどを設けて、学校に行かなくても学校と同じように学びができ、ネットを通じてカフェ、家、旅行などからでも授業ができる。またデータを通じて得意、不得意を見つけ出し得意を伸ばしたりできる状態になっていたらいいなと思います
- 学生じゃないという理由で表立って学ぶことができない社会人がいると思います。そんな人に対して、世間がもっと幅広い世代をウェルカムしていったら、もっと学びたいと手を挙げる人も多くなるのでは

いでしょうか。初めは、何か大人だけとか、社会人だけのワークショップなどがあればとても良いと感じます。そしてそこから、また学生たちに混じって、学生たちと共に学べる環境に成長できるのではないかと考えます。

以上

【チャット】2班（高校生世代3名・大学生・大学院生4名）

1. 学校で使用している端末に思うこと

○タブレット端末等を使用して学ぶことの楽しさやメリット、困ること、不安なことを教えてください。

<学校のどんな場面で端末を使用したか>

- 私はあまり使用した覚えがないのですが（地方であり、世代的にも）1番使用したのはコロナにより休校していた時で、休校中の連絡、資料共有という情報共有の手段として主に使った記憶があります（絵文字：パソコン）自宅のタブレットにて行いました！
- 国語や情報の授業で使いました
- 情報の授業で修学旅行のしおりを作成する為に使いました（学校の端末）。コロナ期間ではオンラインで授業を受ける為に使いました（自身の端末）
- 中学時代は宿題とか授業内での発表とか高校時代はオンライン授業をみるため、ですかね
- 自分は世代的に中高のころはパソコン室で技術の授業で使うくらいでした。今は逆に講義でもなんでもパソコンを使っています
- 学校では端末を使うことが一切なかったので各自で活用することはまったく無かったです。ただ、個人の家とか学校・授業以外では個人判断で使ったりはしていたかと思います。自分はそこまで意識がなかったので、ちょっとスマホで英単語を調べたり、リスニングをしたりしていましたが、人によっては積極的に使おうとしていたかもしれないです。いずれにせよ、学校としては端末の使い方、ICTを活用した勉強方法について情報提供してくれることはなかったので、逆に言えば個人差が大きかったかもしれないです。

<端末を使用した学習での楽しさやメリット>

- Kahoot!（Kahoot! ASA 製品）というクラスでクイズができるゲームをタブレットを使ってやるのがあったのですが、あれは楽しかったです。英語とか歴史の授業で使いました
- 自分のペースでどこでも取り組めるのがいいって個人的に思っています
- どんな場所でも宿題ができて便利
- 私の学校も学習アプリを使うことがあるのですが、他のクラスメートと競い合う形なのでめっちゃ盛り上げられます！
- 簡単に情報や意見を共有できる場所
- 数学はあんまりタブレット使ってなかったですね……。個人的には通信教材とかで使うくらいです。理科もあんまり覚えていないです。体育の授業ではハードル走か何かで自分の姿を録画してフォームを確認していました。
- 数学の復習や小テスト、振り返りシートなどがデジタル化されることで、移動中やリビングでもできて便利に感じた

<端末を使用した学習で、困ったこと、不安に感じたこと>

- 困ったとか、不安とか以前の話かもしれませんが…自分の高校は当時、スマホなど端末の持ち込みが校則で全面禁止だったので端末の利用自体がかなり制限されていてどうしようもなかったです。
(今ではコロナもあって校則も大きく変わりましたが) でも、小中学校だとタブレットの使い方の制限が厳しいとよく聞くので使い方の自由度は困るところかなと思いました
- 最大の困りごとは目が疲れること。あとはつつい YouTube など、勉強と関係ないサイトを見てしまうこと…
- 自分のスマホにたくさんのアプリを入れないといけないこと
- フィルタリングが強くて知りたい情報にたどり着けない時は困りました
- 高校生のころはほとんどなかったです。ほんとに原始的なテレビに先生だけが端末を繋いで資料を見せるとかぐらいです。大学に入ってからコロナで逆にフルオンラインでしたが
- 私は学校の端末を使い始め、いろいろなデータの保存場所についてわからないことが多く、悩むことがありました…クラウドへの保存、端末への保存、またどのアカウントへの保存かなど、わからないことが多く適当に保存していた結果、特定のファイルを探す際苦戦することも多かったです (絵文字: 汗)

2. 対面で取り組む活動に思うこと

○学校や放課後、休日に、対面で取り組む活動で大切だと思う活動と、そのどのようなところが大事だと感じるか教えてください。

- 中高生時代はやっぱり部活は大切な時間だったと思います。単純に高校生らしいみたいな思い出としての価値もあるし、自分の好きなことをやれている感じがありました
- あとは現在もですが、児童館や子ども食堂などでボランティア的なことをする中で人と会うことは自分にとっては大切に思っています。実利的なことだと、今の自分の専攻に関わってくる…というものもありますが、学校での自分とはまた違った自分で居られるのがいいなって思います
- やっぱり地域活動では、対面でのヒアリングが大切だと思っています！やっぱり対面で話しているからこそわかってくるその人の真意だったり、熱意だったりがあるなーと感じているからです。地域活動とは、例えば地域の方々が行なっているイベントの運営に参加して新たな企画を考え実行したり、ですかねー
- デジタル化やリモート化が進んでも宿泊を伴う活動は大切だと思う
- 私もボランティアとか、地域活動とかは大切だなと思います！大学生になってから地域を歩いて気になったところをブログで書いたり、イベントを企画したりする機会がありました。自分からしたら地域の知らなかった魅力が知れて楽しかったです。学校と部活だけ、バイトだけだと地域で生活する実感があまり持てないので、こういう活動は大事だと思います
- 部活動は、中高時代とても大切だなと思います。授業とは違う仲間ができる場でもあり、顧問の先生も、授業以上に自分のことを理解してくださる方になるので、困った時も相談しやすいと感じています。また、少し話はズレますが、コロナ禍のオンライン時には、対面で学校に行けること自体が大切な

時間だと感じました。なぜかという、人に会わないだけで自分のことだけ（マイナスなこと）を考える機会が増えるからかなと思います。休校中に、（2月28日に学校がなくなり）5月ごろ担任と1人ずつオンラインで面談を行い、私にとってはとても久しぶりに家族以外と話す機会となりました。たまたま前年度と同じ先生だったこともあってか、人と話せたことが嬉しすぎて泣いてしまったことを覚えています。

- 職場体験です。自分に仕事合っているか考えたり、進路を考えたりするきっかけになるから。ただし、少し改善したら良いのではという部分があり、私の地域では職場体験は1度きり、職種も1種のみで、いろいろな職業を知るというよりは、労働について考えたり、ひとつの職業に対して自分との適性を図るものだと感じています。職場体験を行う中学や高校の段階では、まだまだありふれた職業しか知らないことも考えられるので、複数の職種を経験してみる、自分の興味のない分野も取り組んでみる大切ではないかと考えています。

3. 周囲からのサポートのあり方について思うこと

○自分らしく学ぶための取組があるかと、自分らしく学ぶためには、先生や友人、アプリなどから、どのようなサポートがあったらよいか、教えてください。

- 問題演習を通して知識を定着させるということを重視していました。暗記することも、問題を何回も解いていたら覚えるので、ひたすら問題集を解いていましたね。
- 大学に入ると問題集とかが全然なくて、テスト前に苦労しています。先生にも演習問題とか作ってほしいですし、クイズ形式とかで大学の授業内容を定着できるアプリがあったらいいなと思います。
- 「自分らしく学ぶ」があまりピンと来なくてなんとなくですが、2,30分くらいの短時間の区切りで繰り返すのはしていました（今も）。サポートは、コンテンツ1つあたりの10分くらいにしてくれるといいのかなって思います。でも逆に1分で復習！みたいに短すぎるとやった感がないので10分～20分くらいがいいです。
 - 勉強といったら1時間、2時間かけて集中してやるものみたいなイメージもありますが、1つ1つの課題はコンパクトでそれが複数ある方がいいです
- まず私の好きな学びは、授業で出た疑問をすぐ調べ、解決していくことです！また、いくらでもその内容について寄り道ができるので、「自分で」調べるという形が好きです！しかしそのようにする中で、高専で学んでいるとかなりその学問の深くまで入ることがよくあるのですが、いつも他の宿題や勉強に追われて、もやもやの残ったまま探究を中断せざるを得ない状況になってしまいます。知りたいことがわかっていくワクワクが中断してしまうのは悲しいです（絵文字：泣き顔）。またどこを調べればいいのかわからず時間もかかります（絵文字：汗）。そこで、そういったものを調べる際の内容別の最適なツールの提案がほしいです！この本が良い、など詳しいのが理想です。また、学年関係なく好きな授業を取れるというのもいいかもしれません（絵文字：キラキラ）
 - 難しいんですけど、例えば結構基本系（小中の授業とか高校高専の「○○基礎」の授業とか）っているんな分野の最初の部分をちよつとずつ、という感じだと思うので、それらを学ぶのは

みんな必須でも、希望者はその奥をやっている上の学年の授業を受けられる、講義を見られる、みたいな感じです！

- 風変わりな回答になってしまうかもしれません。放課後や休みの日は、電車に何時間も乗り続けて勉強するのが、やりやすいです。あまり良くはありませんが、期限内なので、学校と自宅を行ったり来たりしながらひたすら勉強しています。適度に人に見られていることで、勉強しなければいけないと思えます。また、時間を計らなくても、何駅に着くまでに何を終わらせるかなど計画が立てやすいです。
- 予習をしておかないと、授業についていけないことがあります。学校では、授業でやったことを質問することはできますが、予習したことの質問は中々答えてもらえません。なので、学校でも、学校のための予習勉強を教えて欲しいです。
 - つまり、1 から先生に教えてもらわずとも、自分で問題を解いて分からないものを質問した時にまだ学校で習っていないと、学校の先生に答えて欲しいということです
- AI とかが間違えた問題、もっと復習したい問題の類題を出してくれる機能があればいいと思います
- 私は現在大学生なのですが、自分の時間を作ることを大切にしています。自分らしく学ぶために、自己理解をする時間を作ることも大切だと考えています。自分の興味のあることを知ることが自分らしく学ぶことに繋がると考えています。
- 場所選びでは、私は 1 人で勉強する方が落ち着くので、1 人で落ち着ける部屋で勉強することが多いです。
- サポートとしては、未来を見通して自分の勉強計画と一緒に立ててくれるサポートがあれば嬉しいと感じます。なかなか客観的に勉強の計画を練ることが難しいので、計画という点でのサポートがあればいいと思います。
- タブレットなどを使用した個別的な学習で、結果に基づいて間違いや苦手なところを重点的に効率よく学習出来れば良いのかなと思います。

4. 未来の教育について思うこと

○デジタル技術によって未来の教育はとなるとよいか。例えば、自分が大人になった時に、子どもたちが受ける未来の教育はどうなっていてほしいかなど、皆さんの考えや願いを教えてください。

- 未来の教育として、通学がメイン、オンラインなど通信教育がメインなど、今よりも通学しない選択肢が増えても良いのではないかと思います。現在では未だに、通信制に対して良いイメージばかりではないと思っています。例えば、通学できない子が通うというイメージなど...通学距離が長く、希望校への進学を諦めてしまう子や、自分のペースで勉強したいという子のためにも、学校のスタイルも選択できれば良いのではないかと考えます！
- 一人一人のレベル、人とつながりたい度合いに合わせた教育
- 現在のクラス単位に一斉授業という形式では、簡単すぎると思う人と難しすぎると思う人へのアプローチが不足してしまうと思っています。自分でどんどん勉強を進めている子にとって、簡単すぎる授業って時間の無駄ではないかと思ったり、逆に中学の内容まで遡らないといけない高校生が、学校の授業と中学の復習を両立させるのは難しいと思います。個人個人で自分のレベルに合った勉強ができるのが一番いいと思います。とはいえ、この形式にすると人とのつながりが希薄になって孤独感を感じる恐れがあるので、これもがっつり人と関わりたい人は出会いの機会をたくさん提供して、一人のほうが好きだがたまには人と関わりたい人にもどこかでゆるいつながりがあるといいのではと考えます
- 自分のペースを尊重してくれる教育がいいと思います。カリキュラムや割合も自分なりにカスタマイズして義務教育の9年間の中で最低限の単元を修了すればOKのような余裕があるといいです。得意なことはどんどん先に進めて終わらせて余ったコマは探求や課外活動、部活に使える、苦手なところは少しずつ教科担任みたいな先生と進める、のような自分に受けたい教育を考える権利があると理想的です
- 日本は、経済的に余裕があれば塾などの習いごとに通うことができ教育の機会が広がりますが、経済的に厳しければそれが行えません。そのために、国内での教育の「機会平等」がなされない時代になっている気がします。なので、どんな家庭でも自分が学びたい教育を受けられる環境にして欲しいと思います。それは、未来の日本を作る人材育成にもつながると思います。
- デジタルは、学校や集団で学ぶことが苦手な子や家庭の事情で、学校に行くことができない子が学校と同じ授業や考える時間を得るために使えると思います。また、大人になればデジタル技術を使って生活するのが当たり前になると思うので、誰もがそれらの技術に慣れておくことや使い方を学ぶ機会があるといいと思います。
- 私は対面、オンライン双方向の授業が行われればよいのではと思っています！なので、オンライン授業の整備が進めばよいと思います（絵文字：笑顔）また、教育とは少し違うかもしれませんが、学校運営（出欠の連絡など家庭との連携）に関してもデジタルが活用できれば良いのではないかと考えます！
- 私も、皆さんの意見や「テーマ説明資料」のノートにもあるように、将来的には「一人一人にあった教育」があると良いのかなーと思います。先生やその他からのサポートで学習を設計するのはとてもいいと思います！

- 「一人一人に合った教育」をすると、やはり今のような親密な友人関係を学校で作ることが難しくなってしまうような気がして…「一人一人に合った教育」という細かいクラス分けや少人数学級制度、個別でのプロジェクト活動などを想像します。より自分の学びたいことを得て、成長するためにもこれらの活動はとて素晴らしいと思うのですが、実際のところ、人と同じ授業を受け、同じことに取り組むことによって、仲間意識やライバル意識、また助け合いが生まれ、学生時代にしか体験できないような親密な友人関係の形成につながっていると感じています。また、細かいクラス分けなどにより、学校では自身と同じような人としか交流できなくなってしまうのではないかと、ということも懸念の1つです。学校は学問を得る場でもあるけれど、周りの人間関係を作る場でもあってほしいという思いがあります！なので、デジタル技術を使った個別化を進める中でも、そのような点は考慮していくべきだと思います

<デジタルを学校運営で活用する場合の方法>

- デジタル化っていうか機械化に近いかもしれませんが、あと先生視点になるかもですが、夏休み中の動物への餌やり、掃除を自動化する機械があればいいのではと思います。最近先生が休みを返上して学校の動物を世話する必要があるのが手間、学校で動物を飼わなくなっているという話を聞いたので……。私の小学校にはうさぎがいて、生き物に親しみを持つきっかけになっていたのも、動物は学校にいてほしいな〜と思います。
- 「スタディサプリ」とかの講義動画を見られるようにして、豊富な演習問題を解けるサービスを提供して、レベル別学習ができるといいのではと思います！
- 人とのつながりについては、部活とかもそうですし、メタバースとかを使っても面白そうです。クラス、学校に気の合う人がいなくても、VR 世界なら気の合う同年代の人と友達になれます。安全のために、中学生だけ、高校生だけ、というように年齢制限を厳しくした独自のアプリがあると良さそうですね。このサービスに限らずですが、誹謗中傷とかは厳禁ですね。あとはのめりすぎないように制限時間を設けるとか？
- 自分の学習履歴が自動で整理されるといいなと思います。自分の教育を自分で考えると出したんですけど、効率よく学習するところは進捗を確認してパパッとすすめて、時間をかけたいところは自分で進めるみたいなメリハリをつけやすくなればいいなと思います
- 授業動画や解説動画を単元ごとにまとめると先生の負担も減り、学生も予習や復習をしやすくなると思います。イメージは政府広報オンラインや「スタディサプリ」で、動画の作成は先生ではなく全国共通の動画でいいと思います！
- 部活の活動報告や試合日程を共有できるプラットフォームがあれば学校内のコミュニティが広がると思います

以上

【チャット】3班（社会人世代5名）

1. 学校で使用している端末に思うこと

○タブレット端末等を使用して学ぶことの楽しさやメリット、困ること、不安なことを教えてください。

<学校で使ったことのあるタブレット端末と、端末を使用して学ぶことの楽しさやメリット>

- 学校ではパソコンを使用していました。小学生の頃は、パソコンの基本から「一太郎スマイル」（株式会社ジャストシステム製品）のゲームなど、幅広く扱いました。中学生の頃は、隣の席の子と楽しみながらネット検索などをしていました。高校生の頃は、ネット検索はもちろん、ホームページを作成していました。
- 楽しかったことは知らないことを瞬時に知ることができて、便利になったことはもちろん、物事の視野が広がってワクワクしていました（絵文字：音符）
- パソコンなどの端末が存在していないと、本来知るはずがなかった情報を入手できたりと、端末を扱うことで未知との遭遇みたいな感覚だったと思います。
- 使用した端末はパソコンで、タイピングゲームが楽しく、苦手なタイピングが出来るまで何度も挑戦していました。授業でも日常生活でパソコンを使う機会があまり無かったので、パソコンの授業は非日常・特別感があり楽しみにしていました！
- 学校で使った端末は、中学から大学院までパソコンだけでした（絵文字：パソコン）楽しさやメリットとしては、できるが増える点ですね……皆さんが挙げているような検索によるものもありますが、計算機としての手作業では無理な解析をやっているときに楽しかったです（絵文字：音符）
- 解析を初めてやったのは、Excel（Microsoft 株式会社製品）でやるような集計です！うろ覚えですが、高校の授業で、「学力と関係があるパラメーターは？」というお題でクラスメートの睡眠時間や学習時間などの相関を見たりしたのが最初の気がします！
- パソコンを使っていました！壁新聞などで発表していたものが、パワポで発表できたのはメリットでした。字の上手い下手、絵の得意苦手、などが関係なくなったので良かったです。今思えば、小学生からパワポで発表の授業が多いとその後のプレゼンで役に立つ事多いのかなと思います
- 大学の研究室配属で一人一台当たったときは、どんどん使っていました。レポートを書いたり、研究を進めたりするのはもちろん、授業で出てきた内容の応用的なことを試するときも楽しかったです！
- 応用的なこと…
 - ・授業で出てきたサンプルコードの改造（コードを用いた授業自体が分かりにくいので、わかりやすい例をいうと、これまでの気温から、今後の気温を数式を使って計算して予測するなどしてました）
 - ・他の代替ツールの実行 Excel だったら「LibreOffice」（The Document Foundation 製品）や「Google スプレッドシート」（Google 合同会社製品）など、ツールを変えてみて色々試していました
- 初めて小学生の頃に幻の「一太郎」（株式会社ジャストシステム製品）を触ったこともあり、中高では Microsoft 系、大学ではクラウドのラクさから Google 系を使っていました。端末の利用をあ

まり楽しいと思った覚えがないのですが、小さい頃はパチパチとパソコンを早く打てているだけで格好いいと思っていたし、それが楽しくてデタラメな言葉を打ってましたよね（絵文字：泣き笑い）今となつては、Google 系（ドライブ、ドキュメント、スライド、スプシ）は、自動保存とクラウドが大きなメリットですね。最近の公教育では、プログラミングの授業もあると聞いたこともあるので、プログラミングして小さなロボットが動いたり、自動処理できる範囲が広がったりするのは楽しいだろうなあと思います（絵文字：笑顔）

- 先輩がやっているのを見て「同じことしてみたい」と真似してみたり、分からないなりに色々いじってみたりしたら出来るようになったとかですね

<タブレット端末などを使用して学ぶことのデメリットや困ったこと、不安>

- 私は、講師として学校に行ったときに、1つの教室で対面授業をして、そこ以外の7教室に講師の手元のパソコンから「Zoom」（Zoom Video Communications, Inc. 製品）で映像配信する、ということがありました。地方の県立高校でしたが、先生方は技術面は慣れているようでした。でも、こちらとしては、対面授業での視線と、zoomでの視線が全く違うので、7教室の子たちを置いてけぼりにしないよう、両方へ向けた授業をするのが難しかったです（絵文字：汗）
- 自分の見ている情報がハッキングされていたらどうしよう（絵文字：汗）とは思ったことはあります。
- 困ったこととしては、私が学生だったときもそれやっていたなあ〜と反省するところですが、私が出前授業で講師をしに行ったとき、ワークなどでパソコンやタブレットを一度触らせると、閉じさせるまでワークが終わってもゲームやYouTube ショートを開いて過ごしている子がいることですね。「いまは使わない時間であること」を意識的にアナウンスするようにして対処しています。笑
- いまはコロナ禍の影響で高校生以下は学校支給？かと思いますが、大学生だとお金があるか否かでデバイスのスペックの差が目に見えて存在したのは、嫌でしたね（絵文字：混乱した顔）（絵文字：星が回転している）
- フィルターがかかっていると調べ学習なのに検索できないことが多くあったこと。学校によって進行度が違うので、進学した時に「できて当然」となっていると困ることがあった
- 私も当然高校生以下は（良くも悪くも）フィルターがかかっていると思っていました。私もその状況でしたし。でも、今年出前授業させてもらった高校では、自主性を重んじる高校だったこともあり、支給タブレットがフィルタゼロの状態が使われていて、びっくりしました！！アダルトくらいはさすがに掛かっていたと信じていますが…（絵文字：汗）ちなみに、これを受けて「互いに表示される中身が違う」ってことを、生徒たちが理解できていたのは、良かったと思います。
- 保管方法に差がありますね。机の上に置いてあって直射日光が当たってしまうとか最近はかなり暑いので暑さにやられることは聞いたことがあります
- 常に情報が漏れていないか、気にしていました。実際にはないと思うのですが（絵文字：汗）常にリスクと隣り合わせと考えると、安全というお守りがほしいです（絵文字：キラキラ）
- 授業の内容と関係ないページや、ゲーム・動画などを開きつづけてしまうのは不安要素ですね。自分が生徒だったら開いたまま動画みたりしちゃいそうです笑また、端末の情報管理も同意見です！検

索内容に加えて、カメラや SNS の利用も気になります。最近では乗っ取りや生徒による情報漏洩も増えているので…（絵文字：泣き顔）

- 正直授業と関係ないものを開くのはタブレットだろうと教科書だろうと内職していることに変わらないので授業の進め方、教える側の力量によると思います。課題が終わったら自由にしていよいよか休み時間なら自由にしていよいよか締め付けないである程度フリーの方がしっかりとルール守る傾向はあると感じています

<どんなことをすればみんながより安心、充実して端末を使えるようになると思うか>

- アクセス制限をかけるとか？ですかね。。
- 就職してから思ったのは、年代によって PC 苦手、嫌いで、手書きの方々がいるので、慣れの意味では小学生のことから触れるだけでも良かったと思います。
- クレジットカードの監視システムのように、24 時間体制で不正アクセスなどがあれば、予め登録しておいた自身のメアドなどに検知を知らせてくれるようなものがあれば（絵文字：笑顔）
- アクセス制限をかけて、危険なものから子ども達を守る。至ってシンプルですが、みんなが安全に利用できる手立てだと思っています。
- あらかじめダウンロードした動画や教科書のみ見られるようにする年代によってフィルターの基準を変更するグループワーク等を多くすることでこども同士で監視しあう環境設定
- 最終的な目標の「いつでも、どこでも」を踏まえて…指定の端末を家でも使う場合があれば、学校内だけでなく家庭でもルールやセキュリティ面の共有をして協力してもらおう。
- 生徒にとっては疎ましいかもしれませんが、見守りの目を増やしていくのは大事なかなと思います（絵文字：ほっとした顔）
- IT リテラシーを指導要領に取り入れる。専門家が授業することで教師は見守りに専念できる。配信で授業する事で学校に行きにくい子でも授業が受けられる出席となることができる
- 専門的な授業は専門家やプロなどに関与してもらおう。よくある質問や使い方はアプリやチャットボットで予め設定し、教員の負担を減らす。未然防止や事件早期発見にむけて、トラブルの模擬授業や動画配信・セミナー等を開催する
- 災害の避難訓練同様に端末の避難訓練を行い対処方法、回避方法などを学びリスクヘッジ等の自己防衛を身につけられるようにする
- 「見られている」というのを直に感じるのはストレス（＝正解の使い方しかしてはいけない）と感じるため、できる限りシステムでやってはいけないことをブロックされるほうがわかりやすい上に安心して機器を使えるかもしれません。
- ホワイトフィルタリング（アクセスしていいサイトしかアクセスできない）のような仕組みを積極的に導入し、直に画面を見る、通信を見るというのは避けたいと感じました。見られているという感覚、悪いことをしてはいけないという感覚も大事ですが、パスワードや他人の検索を見てはいけないというのも一つ、学習経験として必要だと感じました……

- ただ、フィルタリングで困ることが多いのも事実だと先の意見から感じています……フィルタリング内容をそのときそのときの学習と学年に合わせて、先生がたが簡単に編集できたらいいのですかね……？絶対アクセスしちゃいけないブラックリストフィルタリング+先生の裁量でのブロック（動画サイトなど意見が分かれそうなもの、翻訳したり英語が読めたりしたら力になるけど危険が多い海外サイトなどなど）
- 「限度を超えたら行われる罰則が会話に出てくる」環境だと、悪いことをしなくなるというのはあるかもしれませんが。できるけど、やらないという強い動機づけになるかもしれません。
- グループワークいいですね、そこから派生して、個人用ではなく、教室内での貸出のようにして、前にも次にも別の人が使うようにするのはどうでしょうか。皆さんの話していた、相互監視のひとつの方法かなと思いました（絵文字：考える顔）
- 良いアイデアがたくさんですね！でも、あまりに監視すぎたり、罰則が強すぎると、アングラ化・裏化するだけな気もするので、どの程度が良いのか私にも見当が付きません。特に大学生や高校生だと、メジャーではないアプリやサイトに逃げるだけなような気もします…。個人的には（学校のデバイスに限りませんが）ネトスト対策はサーバー側や学校側にどうにかしてほしいです。
- 大学の Wi-Fi での SNS 接続は、建前上禁止されていましたが、みんな守っていなかったし、ルールや手続きに従った「注意」をされたこともありませんでしたね…。大学の Wi-Fi を使ったの、高齢の生徒が若い生徒に、同意ないアプローチをしていたのが、処分されていた気がしますが…どう処分されたのか、どう特定されたのかは分かりません。被害者の子が声をあげたような気がしますが、声をあげなくても特定されたり、そもそも送れなかったりしたら良いかなと思います。
- 加減がわからないのは、本当に同意です。少なくとも「バレたときのデメリットが大きいし、やめとけ」を友人が言えるラインであるべきかなとは感じています。関わらないでおこうでも、止めなくてもいいやでもないラインを探すのが必要かなと感じています。ネトストは、難しい問題だと感じています…… 教職員アカウントから、なにか監視ができる状態である状況であれば、それを学生側が不正利用してしまうみたいなのなので、全体の監視と受容のバランスを考える必要があるので……
- ネトストとは逸れますが、後段の話を読んで思い出したのは、私が高校生のとき、情報室のパソコンを授業で使っていたら「先生から見えてるぞー」って言われた覚えがあります。ハッパリだったのか分かりませんが、あれは多少は効き目があったように思いますね！いまの教育現場では、教職員アカウントからとかで確認できるようになってるんですかね…（絵文字：考える顔）
- 元も子もないですが、「学校で使用する端末」が、プライベートなもので兼用していると、何も学校側からは技術的に制御できないですよ…（絵文字：泣き顔）不正利用の手前で立ち止まれるような、児童生徒学生側の「自制心」に訴えかけるような手段があるのでしょうか…。ちょっとのんびり考えてみます。
- 「プライベートな端末」で「学内ネットワーク」を使っている場合は、その通信に関しては制御できるので、不正利用の種類によっては制御できるかもしれません。ただ、通信になると視覚的に見えにくいとか、急に技術力が必要で制御する機能の導入自体が難しいです……

<楽しく、継続的に、積極的に使えるような方策>

- (現場に行かなくて良いという意見では全くありませんが) 社会科見学をVRとかで出来たらいいなと思います。たとえば、すでにあるものでは、311の被災の様子や、インタビューをVRで見られる取り組みがありますね。昔の人の絵画などをAIで動かすこともできるようになっていることを考えると、関ヶ原の戦いのど真ん中に置いてけぼりにされるとか、夏目漱石が「こころ」の授業を讀きながら適度に聴いてくれるとかしたら楽しそうかなと思いました(絵文字: 泣き笑い)

<学校で使用するタブレット端末にまつわる、印象的なこと、思い出、エピソード>

- 私が児童・生徒だった頃はまだ、スマートフォンはもちろん、タブレットが普及してなくて、パソコンをメインに使用していましたね。プライベートでは、タブレットユーザーですが(絵文字: 汗)
- 調べ学習の発表でPowerPointを使う時にみんな効果音をつけたがるので教室の色んなところから色んな音で笑いが起きた事(絵文字: 笑顔)パソコンメインだったので、ローマ字を覚えるのに必死でした(絵文字: 汗をかいた人)
- 学生当時はパソコンしか授業で使っていなかったですね。パワーポイントでプレゼンする授業があったり。調べ物やプログラミングするツールはタブレットでも変わらないのかなあと。
- 簡単に持ち運べなかったので家のパソコンを独占して課題をやっていた記憶があります!
- 中学高校までは、2人で1台のパソコンで授業が行われていましたね。中学生だと、パソコンに慣れている子ばかり操作して慣れていない子の学習機会がなくなったり、慣れている子同士だと喧嘩したり、授業そっちのけでパワポの図形でオリジナルロボを書いていたりと、愉快的な記憶があります

2. 対面で取り組む活動に思うこと

○学校や放課後、休日に、対面で取り組む活動のどのようなところを大事だと感じるか教えてください。

<学校や放課後、休日に行われる対面の活動で、大切だと思う活動、体験にはどのようなものがあるか>

- ちょっと違うかもしれませんが、「食事」「食育」が真っ先に出てきました。健康を考えるとなくなるとはならないのに、対面でなければその楽しさも必要性も薄く感じてしまうなと思いました。
- キャンプなど自然体験は、普段の生活できないことであり、大切だと思います。
- 私は文化祭のイメージでした。良くも悪くも協力が求められるので、波に乗れたら純粹に楽しいですし、乗れなくても「やりたくなくても協力させられる体験」は教育の醍醐味だと思っています(皮肉的です)。他にも運動会や合唱大会などは、個人的には大嫌いでしたが、社会に出てからのストレス耐性を強める点では効果があった・大切だったと評価しています。
- あまりポジティブではなくてすみません(絵文字: 合わせた手)(絵文字: 汗)でも、「強制的にやらされる」経験って学校から出るとほとんどなくなりますよね…。だからこそ大事だと思いました。
- 部活や地域のチームのような団体活動は大切だと思います。チームの問題を他人事にしない、協力・尊重しあえる、など他者との関わりを学ぶ機会は必要かなと。また課外活動など、新しい発見や現地でしか味わえない体験が出来る機会も大切だと思います!

- 皆さんが仰ったように、文化祭や学童保育、林間学校などを思い浮かべますね（絵文字：片眼鏡をかけた顔）個人的に夏休みに実施されていた【夏の教室】は好きでした（絵文字：音符）
- 【夏の教室】とイメージが合っているかはわかりませんが、夏休み限定の希望制の実習や授業は確かに楽しかった記憶があります。フラワーアレンジや茶道体験があった気がします……
- 地元に関する資格試験の学習会もありましたね。あと、泳げない子向けのプール教室は小6まで毎年参加していましたね……

<対面の活動、実体験の活動が、端末やデジタル技術を用いることでさらに深まったりした体験やアイデアがあるか>

- 沢登りをドローンで撮影してその後、参加者で上映会をしたことはあります。スマホで撮影した物をチェキプリンターでチェキにして最後プレゼントするとか何か形に残る物は好評ですね
- 学校のパソコンの授業では、生徒同士でお互いに分からないところを教え合っ、パソコンなどの端末のスキルは自然に向上していました（絵文字：キラキラ）。コミュカも上がりますしね笑
- 植物や昆虫などを端末一つで簡単に検索して分かるようになったのも良かったです
- AIを使った検索も、見つけた場所をGPSで記録してくれるのもあっていいですね！
- 持久力向上を助けるデジタル技術の利用はしてほしいなと思いますね（絵文字：走る人）
- 大学の健康・スポーツで、脈拍を測る機械を着けて走り、脈拍の変化を元に適切なペースを決めて持久力を伸ばす授業がありました。そこで、「運動ってただ辛いだけじゃないんだ、考えて伸ばしていけるんだ」「みんなから見て走るの遅いけど、心拍数が170を越えていて限界なのが客観的にわかるから急かされない、安心だ」と感じました。高校生までの体育嫌いはなんだったのだろうとまで思いましたね……
- 海外の方や初めてのかたと知り合う機会が増える。授業でzoomを利用し海外の方と繋がりがやすくなったと聞いたことがあります。海外在住の方に講演を依頼したり、生徒がオンライン上で知り合った方と積極的に英語でやりとりを試みたりしていたそうです！詐欺防止やトラブルにならないように配慮することは必須ですが（絵文字：冷や汗）
- 対面の活動にデジタルが入ることで、既存の人との関わり方が変わってきますよね。LINEなどの連絡ツールが主流になった今、デジタルは必要不可欠な存在で便利ですが、もし、存在していなかったらと考えると不安になってしまいます（絵文字：汗）

<オンラインでの活動が増えても、無くしてはいけない対面の教育活動とはなにか>

- 今、課題になっている性教育についてだと思います。とてもナイーブなことなので、オンラインだと伝わりづらい問題もあるのかなと。。対面でしっかりとレクチャーしていただいた方が理解しやすいのかなと個人的に思います。
- 体験教育だと思います。実際にやったことがあるのは重要です。知識があっても実際にやってみると違ったりすることが結構あるので、体験、経験は大切だと感じています。

3. 周囲からのサポートのあり方について思うこと

○自分らしく学ぶためには、先生や友人、アプリなどから、どのようなサポートがあったらよいか、教えてください。

<機械ではないもの（人など）による「あるといいと思うサポート」>

- 「出前授業」は対面とオンラインだと全く効果が違うので、なるべく対面でやってほしいです。性教育や政治参加がテーマで、出前に行つての体験談でした。
- 様々な無料の学習支援などと連携して学習サポート AI に対応できない場合に個別対応
- 生徒の学習傾向や性格に合わせて複数のカウンセラーや相談員を設置。カウンセラーにも相性があると思うので、複数人から選べると相談しやすくなるのではと思いました。今流行りのもので恐縮ですが性格診断などを利用して、生徒との相性や得意分野を踏まえた相談員を配置するなど…。
- ポスター発表のような成果報告会。みんなの学習経験が調べ方、興味の持ち方によって違うため、学習をまとめて発表する場があるといいなと考えました。人によるサポートだと、ツールの共有ですね。知らないこと、現状のツールで満足していると、調べに行かなくなるため、他人からの共有がとても助かります。
 - ツールの共有については、便利ツールだったら何でもみたいところがあるのですが、
 - ・「Notion」（Notion Labs Inc. 製品）のような色々できるツール（AI によるノートの要約、Todo リストの作成、データベースの作成）
 - ・「Copilot」（Microsoft 株式会社製品）（ChatGPT（OpenAI, Inc 製品）に似ているが、プログラミングが上手い）他にも、AI 関係なく図形描画を簡単にできるツールや資格試験向けおすすめアプリなんかも、自分で調べてないものを意外と紹介されて、助かりましたね

<アプリやシステム、データ等による「あるといいと思うサポート」>

- 機械によるサポートなのかどうかも分かりませんが、子の DX への馴染みの程度は親によりますから（教科科目のように塾でやっているのでしょうか？）アナログだったこれまでよりも進度に差が出やすい・大きいのではないかとイメージしました。なので、教育全般に言えることですが、進めたい子が進められて（ex. 公文式のようにアプリで先に進めるとか？）遅れている子を置いていかないようにするのが理想ですね。ただ、先生の負担が大きそうだなと思いました。
- 機械は基本的に人間に対して全肯定のため、懐疑的な質問をされるような場としても機能するといいなと。
- スクールカウンセラーのように、スクールテックサポートみたいな人が 1 人はいるといいのかもですね。現状、学校によっては教頭や校長が担っているのかと思います。
- チャット等で質問が気軽にできる環境 AI を活用してチャットへの適切な回答。多学年の授業を見ることができ
- 相手の学校での授業がわからないために、学習支援の際に適切なアドバイスができなかったのも、相手が受けている授業を実際に見ることが出来れば「ここはこうだよ」と適切な支援ができる。現授

業に満足していなければ先の学年の授業を受けて満足度を上げる。基準を満たしていれば授業受けなくても良いなど規定があれば、ギフトなどに対応できる

- デジタル全体に思っていますが、自由度が高いからこそ、どうしてもついていけない、使いこなせない子も出てきてしまうと感じています。使いこなせない子向けの、学習の選択肢、画面に出てくる操作を絞った「わかりやすい版」があるといいなと考えています。
- データによる最低基準の進捗率・クラス/学年の平均進捗率・自身の学習進捗率などの可視化。アプリ学習での学習進捗率を可視化することで、遅れている子を優先的にサポートできるのではないかと思います。生徒へのプレッシャーにならないように、進捗率は教員だけわかるのもいいかもしれません。
- 自分への戒めになりますが、動画学習はわかった気になったけど、その実何も理解していないことが多いです。その理解度のチェックは、機械でないもの、機械によるもの両方からのサポートが欲しいと感じます。
- 機械によるサポートで印象に残っているものだと、現在、資格勉強中の練習問題を ChatGPT にひたすら作ってもらっています。（ただ、結構な頻度で嘘をつかれたり、「答えがない」など問題になっていなかったりもするため、普通の問題以上に気を使います）
- 単元ごとの確認テストの導入・広範囲の単元を組み合わせる総合テスト
- 印象に残っているサポートについてです。動画で印象に残っているものは、自分が知っているアニメキャラや実際の映画、途中でクイズが出るものです。私の場合、動画のほかに漫画や小説・冊子などがあると興味がわいて、頑張ろうと思っていました。興味のあるコンテンツのアプリをダウンロードすれば、自分好みに学習できそうだなと思いました！

4. 未来の教育について思うこと

〇デジタル技術によって未来の教育はとなるとよいか。例えば、自分が大人になった時に、こどもたちが受ける未来の教育はどうなっていてほしいかなど、皆さんの考えや願いを教えてください。

- 至ってシンプルな考えですが、未来の子ども達には、今よりもっと進歩した教育 DX を受けてほしいと思います（絵文字：新芽）これから、DX 時代なので、時代のパイオニアになってほしいです（絵文字：キラキラ）
- 進歩した教育 DX とは、極端な例ですが、既存の教育システムを可能な限り、AI 化して DX 人材を育てる認識ですね。今まで、教師が行っていた作業を AI がサポートしたり。。（ゆくゆくは AI が授業する時代が来そうですが（絵文字：汗）社会に出る前に、AI に慣れていただいて、免疫をつけるということです。日常生活 with AI ということでかね。
- 私立は例外ですが、公立（特に同じ地域）で授業やテストの内容によって成績に差が出ていることがあるので進学の際の格差が出ないように統一して欲しい。統一にすればテスト作る時間を減らせるので、教師の業務負担軽減につながる。指導要領の変更も踏まえて現代の必要な能力を選択して選べるとか必須科目以外に選択して選べる授業があると良い。オンラインで行えば選択授業も豊富に行える

- 統一する部分については、単純にテストを統一してその内容に合わせた授業をすれば良いかと思います。同じ市内でも教科書が違うのでそこらへんまで地域統一して同じ地域内での差が出ないようにすると思います。
- テストのイメージは、中学校の定期テスト。学校別のテストの難易度で内申点が変わるのはいかがなものかと思うので・・・
- 知識や基礎など 1 人でも学べるところをデジタル化できると、いつでも学べて教師の負担も少しは軽くなるかなと思いました。あとはかなりの理想論ですが、AR で自宅にいても模擬体験ができると、学びの可能性が広がるなど（絵文字：ほっとした顔）
 - AR が使えるものとしては、自分が運動嫌いなものもありますが、球技のボールを AR にしてほしいですね（絵文字：笑顔）打ったときのフィードバックがないのは困るかもしれませんが、怪我しやすくて運動嫌いになったので……
 - もう実在しない偉人や化石の復元、絶滅危惧種を AR で再現も面白そうだなと思いました！
 - 運動でいえば、高飛びやハードルのバーを AR 表示とセンサーにして、怪我を気にせずやってみたかったです。当たった時の痛みがトラウマになって全力で飛べなかったのが心残りです
- 「知識と思考をデジタルで」「人とのコミュニケーションを対面で」とハッキリとした強みを生かした教育になるといいなと思っています。生成系 AI とのみ、ずっと会話（??）をしていると、「否定されないから、ずっと自分のターン」「相手は言いきりの形で情報を与えてくるため、現実の曖昧な情報を受け入れられない」のような弊害もどうしてもでてしまうので……
 - イメージの一つとしては壁打ちです。なにかを考えたいときに、「○○を 5 つ出して」のような発散、「これらを要約して」のような収束で思考の補助をもらうイメージです
- ひと通り皆さんの意見拝見しました。どれも素敵で希望に満ちたもので、私が学校に通っていた頃にあったら使っていたら良かったなと思いました（絵文字：笑顔）だからこそ現実的な発案になりますが、結局学校教育って残念ながら（仕事に就いてから勝ち組になるための前段としての）大学受験が、小学生の頃からついて回っているような気がしていて、その価値観や進路選択が DX 化で解消できるのか分かりませんが、教育の DX 化を通じて価値観の多様化を促し、色んな在り方や進路が許される社会・子どもたちが自分なりに「自分らしい」進路を選べる社会になったらいいなと思いました。
 - 具体的には…学校に来て来なくてもハブられないようにする。たとえば、授業の進度をオンラインや AI で管理する、とかはすでに考えられているとおりですし…通信制高等学校のようにメタバースで授業するのもすでにあります…がこれを使えるのは一部だし、使っている人はギフトや総合型入試志願者などを含む変人扱いされるのが現在ですよね。数年先くらいの近未来的な話にもなるかもしれませんが、そこにあるデバイスが「人」として認識されるような環境になると面白いかなと思いました。対面で・教室で授業を受けている子と、オンラインで・家や旅行先や親の出張先等から授業を受けている子が同じ授業を受けていて、休み時間になった瞬間オンラインの子がハブられずにおしゃべりできる。たとえば、対面の子たちが VR をつけたり、オンライ

ンの子が AR で現れて向こうからも 360 度カメラを通じて学校の様子が見られたりして、対面で交流しているのと大差ない空間が作れたりしたら面白いかも…です。

- VR だと、容姿・年齢で学問の邪魔をされないのもいいですね……高等教育の学び直しも、低学年での容姿によるコンプレックスにも、一つの対処法になるのかな
- 学校に行くことは「労働」ではないので、有休のような概念はないですが、仮に学校をサボっても、勉強面だけでなく交友関係や内申点も込みでキャッチアップできたら、色んな進路や在り方を選びやすくなるかなと思いました。
- オンラインの子と、対面の子で得るものの差を無くせたら、どちらのツールの良さも両方取りできたら、いいですよ（絵文字：ほっとした顔）
 - 本当に同意です！ツールはなんであれというのはあります、提供者は大変ですが、学習者の選択肢の一つとしてあらゆるシステムがあるといいなと思います
- 課外活動だと、人数が少なくて実施できない活動を、他校と合同で実施するのも考えました
 - 課外活動としては、主に文化部かなと考えています。演劇部や放送部、ESS 部、ディベート部、新聞部、囲碁将棋は相性がいいかなと思います。生物部や物理部なども人数が少なかりがちなので、他校と常に合同だと、データ収集後の検討段階などは、安定して活動できないかなと考えました。
- デバイスの話を超えて、そもそもの教育についてなのですが、いまだき、教育って学校だけが担っているものではないことは承知の上ですが、親の収入差や自分の可処分時間の多寡に左右されずに「強制的に時間をとれる」のが学校教育の一番の良さなんですよ。だからこそ、次の世代の「ふつう」を作りやすいと思うんです。でも、どんなことをしたら何が根付くのかの成果も見えない中進行していくのは難しいですよ…。だから、各都道府県に 5 つずつくらい新しいものを 2 年内に取り入れる学校を設置したりして、既存の価値観や古い人達の考えでも「良さそう」と思ったことをどんどん実験できたらいいなと。もちろん、デジタルもその実験に突っ込んで。そして、そういう学校には行きたい子や親が責任をもって入ったり/入れたりして、受験でもマイナス評価されないようにしたいです。デジタルにはデジタルの受験があったりするなど、みんなの「好き」で戦える受験形態になってほしい…。
- 対面とオンラインでの大差ない空間づくりが、今後の普通になっていくといいなと感じました。例えば、旅先や家だけでなく病院からも皆と同じように授業を受けられる・休み時間に話せると、入院～復帰までみんなとの関わりが途切れなくて心細くないなあと。加えて、オンラインの環境が整うのに比例して、端末を使える場所も増えていくと良いなと思いました！今後文字書く事も少なくなってくるから、宿題とかも選択式にして送信すればオッケー（絵文字：オッケー）となれば対面が難しい子も対応できるし、テンプレが出来れば教師の負担軽減に繋がる。こどもがより良い教育を受けられて、先生が負担軽減に繋がる仕組みが出来ればいいなと思います。

以上